

知事コメント

(高岡市発表 JR の乗継割引終了に伴う対応策について)

令和 2 年 1 月 27 日

富山県知事 石井 隆一

本日、高岡市より発表された、JR の乗継割引が廃止になることに対する激変緩和策については、影響が大きいと考えられる通学生を対象として、通学定期の運賃と、従来の JR 線等と乗り継ぐ通学定期との差額分の約 2 分の 1 相当額を助成することについて、関係機関と協議を進めているとのことである。

今年度末で期限を迎える乗継割引については、昨年、県から、利用者の負担軽減の観点から、JR 西日本に対し乗継割引の延長及び「割安な回数券の創設」を要望し、昨年 12 月 23 日には、私からも JR 西日本の長谷川社長にお会いし直接お願いしたが、「割安な回数券」については検討するとしながらも、乗継割引については、残念ながら、昨年 12 月 26 日に、その終了が発表された。

一方、県としては、あいの風とやま鉄道に対し、あいの風とやま鉄道分の乗継割引を継続するようお願いし、これについては、延長する旨が同日に公表されたところである。

今回発表された内容については、県としても、高岡市長からも支援の要望をいただいたところであり、また、従前より、市の取組に対して応分の負担をすとしていたことから、今後、具体的な支援策を検討してまいりたい。

他方、別途要請してきた「割安な回数券の創設」については、JR 西日本において前向きに検討していただいていると聞いており、速やかに対応していただきたい。